

「臨床検査」 第 23 巻 総目次

1979 年 第 1 号—第 13 号

数字は通巻頁数, () は号数

カラーグラフ

組織中免疫複合体の証明	川生 明・勝亦 慶人	4(1)
リビドーシスの病理組織	折居 忠夫・堀野 清孝	112(2)
DIC の病理組織	田中 健蔵	216(3)
腸内常在菌叢	光岡 知足	320(4)
過敏性肺臓炎	河合 健	428(5)
腎生検	荒川 正昭	536(6)
リンパ球とリンパ系腫瘍細胞	下山 正徳・湊 啓輔	648(7)
腸管感染症の下痢便性	加藤 貞治	760(8)
骨髄腫	山口 潜	868(9)
急性心筋梗塞症	元田 憲・川崎 英	984(10)
甲状腺疾患の組織像	矢川 寛一	1332(12)
粘液多糖体重染色	竹田 桂子・小島 孝子 須藤 美子・佐久間由子	1444(13)
骨髄生検標本	黒川 一郎	1445(13)

技術解説

C1q 結合試験	桜井 徹志・小山 哲夫・田村 昇	7(1)
Solid phase conglutinin binding test による血中溶性免疫複合体の測定	吉田 治義・高橋 勲・中井 庸二 井上 勝美・濱島 義博	19(1)
クリオグロブリンの分析と検出	青木 紀生	27(1)
過酸化脂質の測定	八木 國夫	115(2)
HDL-コレステロール	櫻林郁之介	121(2)
血中胆汁酸の測定法	眞重 文子	129(2)
FDP と FgDP の鑑別	風間 睦美	219(3)
Cold-insoluble globulin	松田 道生	227(3)
血小板第 4 因子測定法	桜川 信男	233(3)
腸内常在菌叢	光岡 知足	322(4)
マラリア原虫の検査法	中林 敏夫・小野 忠相	335(4)
リムルテストによる内毒素微量定量	丹羽 允	343(4)
超音波心臓断層法の基礎		

……………松尾 裕英・島津 敬 大原 龍彦・千田 彰一…	431(5)
ME 機器の漏れ電流の計り方…………戸崎 丑之助…	442(5)
終夜睡眠脳波の記録と分析法 ……………中沢 洋一・野中 健作…	451(5)
酵素抗体法・1 酵素抗体法の基礎 ……………和泉 伸一・渡辺 慶一…	539(6)
酵素抗体法・2 免疫電顕法としての の酵素抗体法…………小松 遵至・渡辺 慶一…	553(6)
骨組織標本作製法 宮下 剛彦・尾島 昭次・丸本 雅夫 古田 伸行・川村 亮寿……………	562(6)
T, B 細胞算定のためのロゼット 形成試験……………橘 武彦…	651(7)
細胞培養試験と分裂促進物質 ……………笠原 忠・伊藤 喜久…	660(7)
リンパ球膜表面蛋白の局在証明法 ……………金 衡仁・高木 皇輝…	668(7)
細菌性食中毒における推定原因食 品の検査の実際…前島 健治・仲西 寿男…	763(8)
細菌性食中毒における細菌毒素検 出法の実際……………阪口 玄二・大石 巖…	772(8)
ブドウ球菌コアグラゼ型別法の 実際……………潮田 弘・寺山 武…	779(8)
電気泳動による リボ蛋白-脂質の 分別定量法 浦田 武義・櫻林郁之助・河合 忠…	871(9)
Immunofixation electrophoresis ……………須藤加代子…	881(9)
細胞電気泳動……………橋本 信也…	888(9)
生体機能計測上の工夫……………戸川 達男…	987(10)
誘発筋電図……………堀 浩・衣川 一彦…	996(10)
大動脈脈波伝播速度の測定法 ……………吉村 正蔵・林 哲郎 古幡 博・長谷川元治…	1007(10)
T ₃ , T ₄ の測定法 ……入江 實・黒田 光保…	1335(12)
TBG, PBI, BEI の測定法 ……………屋形 稔・三国 龍彦…	1343(12)
甲状腺シンチグラムの臨床的価値 ……………伊藤 國彦…	1351(12)
骨髓生検標本の作り方	

黒川 一郎・成田 英明・室谷 光三	
山本 英二・小川 祥子	1446(13)
粘液多糖体重染色	・竹田 桂子・小島 孝子
須藤 嘉子・佐久間由子	1455(13)
電頭的ラジオオートグラフィー	・内田 和子 1461(13)

総 説

免疫複合体の証明法と臨床的意義

……………	粕川 禮司	35(1)
高脂質血症	……………五島雄一郎	137(2)
急性 DIC と慢性 DIC	……………松岡 松三	239(3)
腸内常在菌叢と感染症	……………小澤 敦	349(4)
肺音の新しい計測技術	……………工藤 翔二・渋谷 惇夫	457(5)
腎生検とネフロパチー	……………小林 収	569(6)
リンパ球と免疫機能	……………星野 孝	675(7)
細菌性食中毒—最近の趨勢	……………善養寺 浩	785(8)
電気泳動分画定量の原理	……………島尾 和男	895(9)
生体電位記録の基準電極点の問題	……………石山 陽事	1013(10)
下垂体-甲状腺系ホルモンと臨床的意義	……………畔 立子・宮井 潔	1359(12)
T細胞・B細胞白血病	……………高月 清	1477(13)

臨床検査の問題点

免疫電気泳動法	……………大谷 英樹 ……………川口 昭恵	44(1)
脂質検査—特に食事の影響について	……………川出 真坂 ……………橋本寿美子	148(2)
パラコアグレーションテスト	……………藤 巻 道 男 ……………小河原はつ江	246(3)
opportunistic pathogen をめぐって	……………五島瑳智子 ……………清水喜八郎	360(4)
血液ガス分析	……………白石 透 ……………宮沢 正治	464(5)
蛋白尿	……………林 康之 ……………大竹 和子	576(6)
リンパ球分離法	……………関口 進 ……………能勢 義介	688(7)
下痢便の検査の進め方	……………柳下 徳雄 ……………小林 章男	792(8)
抗血清の特異性	……………松橋 直 ……………橋本寿美子	902(9)
電子式スピロメーターの特徴と欠点	……………太田 保世 ……………杉山 吉彦	1022(10)
甲状腺ホルモン測定値の信頼度	……………屋形 稔 ……………熊原 雄一	1366(12)
白血病細胞の見方, 読み方	……………天木 一太 ……………相賀 静子	1484(13)

検査と疾患—その動きと考え方—

免疫複合体病	……………大藤 真・倉田 典之	50(1)
--------	-----------------	-------

リポドーシス	……………折居 忠夫・堀野 清孝	154(2)
急性前骨髄球性白血病	……………山口 潜・野沢 靖美	253(3)
マラリア—抗マラリア剤の作用機序と診断上の問題点	……………海老沢 功	365(4)
過敏性肺臓炎	……………河合 健	471(5)
アミロイドーシス	……………古山 隆・京極 芳夫	583(6)
重症複合免疫不全症	……………岡田 昌彦・上原 秀樹 ……………崎山 幸雄・松本 脩三	695(7)
ボツリヌス菌中毒(E型)	……………飯田 広夫	799(8)
多発性骨髄腫とM蛋白血症	……………山口 潜	909(9)
細気管支炎	……………谷本 普一	1029(10)
T ₃ サイロトキシコーシス	……………江藤 澄哉	1373(12)
慢性骨髄性白血病の急性転化	……………喜多嶋康一・北川 中行・時岡 正明 ……………依光 聖一・厚井 文一・頼 敏裕	1490(13)

Ex Laboratorio Clinico

半分子 IgA 型骨髄腫	……………河合 忠・櫻林郁之介	57(1)
高分子 GOT	……………中島 正男	160(2)
先天性 α_2 -plasmin inhibitor 欠損症発見への道程	……………青木 延雄	262(3)
風疹ワクチン	……………高橋 理明	382(4)
ステロイド分析法研究の遍歴	……………南原 利夫	488(5)
TPHA	……………富沢 孝之	601(6)
Abnormal fibrinogen “Nagoya”	……………高松 純樹・神谷 忠	712(7)
川崎病	……………直江 史郎・増田 弘毅	806(8)
潰瘍性大腸炎の線虫抗原による免疫反応	……………辻 守康・木村 公彦	927(9)
Fujiwara trait	……………林 久智	1048(10)
梅毒血清反応・1	……………緒方 富雄・徳永 栄一・原 一郎 ……………阿部 正英 <司会>松橋 直	1390(12)
梅毒血清反応・2	……………緒方 富雄・徳永 栄一・原 一郎 ……………阿部 正英 <司会>松橋 直	1509(13)

座 談 会

病院における消毒法の実際	……………藤本 進・池本 秀雄 ……………<司会>小張 一峰	374(4)
睡眠と生体反応	……………菱川 泰夫・遠藤 四郎 ……………<司会>松本 淳治	478(5)
尿の細胞診	……………石津 澄子・田崎 寛・山田 喬 ……………土井 久平 <司会>高橋 正宜	592(6)
リンパ球機能検査はどれくらい診療に役立つか	……………矢田 純一・高月 清	

免疫グロブリンと酵素の結合	尤 芳上・菅野 剛史・星形 稔	<司会>河合 忠	704(7)
循環機能検査法の進歩	小沢友紀雄・藤巻 忠夫・長沢 紘一 中西 成元・中塚 喬之	<司会>河合 忠	918(9)
甲状腺疾患診断の進歩	伊藤 國彦・紫芝 良昌	<司会>上杉 昌秀	1038(10)
組織検査の現状	福島 範子・清水 一男・武石 詢 吉村 忍・佐久間由子	<司会>入江 實	1380(12)
	渡辺 恒彦		1498(13)

検査室の用語事典

統計学	土肥 一郎	89(1)
	193(2), 297(3), 405(4), 513(5), 625(6), 733(7), 841(8), 957(9), 1073(10), 1422(12), 1533(13)	
超音波検査<基礎篇>	竹原 靖明	91(1)
	195(2), 299(3), 407(4), 515(5), 627(6)	
超音波検査<臨床編>	竹原 靖明	735(7)
	843(8), 959(9), 1075(10), 1423(12), 1535(13)	
付・心エコー図(像)によく用い られる略語	竹原 靖明	1532(13)

質疑応答

〔臨床化学〕

セルロースアセテート膜とは	青木 紀生	93(1)
金の定量法	大久保三郎	95(1)
キットを変えたいとき	大場 操児	197(2)
等電点電気泳動と等速電気泳動	佐野紀代子	301(3)
酵素免疫測定法の現況	宮井 潔	303(3)
gyloxal bis 超微量比色法による Ca 測定	松宮 和人	409(4)
レイトアッセイによる GPT 測定	小川 善資・林 長蔵	517(5)
ALP 活性の異常低値	中山 年正	519(5)
透析患者の CCLF 判定	池田 清子	629(6)
尿中ステロイドホルモン測定	後藤 順一	631(6)
セパラックス S による蛋白分画	河合 式子	737(7)
UV 法とは	吉野 二男	737(7)
プール血清について	仁科 甫啓	845(8)
クロライドカウンター用測定試薬	高原喜八郎	847(8)
コリンエステラーゼの正常値	中山 年正	961(9)
グルコースオキシダーゼ法による		

血糖定量キットの除蛋白操作	佐々木 禎一	963(9)
仮性痛風の検査	西田 瑋太郎	1077(10)
コレステロール定量の妨害因子	松本宏治郎	1081(10)
尿中馬尿酸について	岸波菊江子	1081(10)
甲状腺機能亢進症と CK	屋形 稔	1425(12)
HDL-コレステロールの健常値	野間 昭夫	1427(12)
ブドウ糖負荷試験	大井 一輝・水野 美淳	1429(12)
GPT とトリグリセリドの関係	溝口香代子	1537(13)
尿中 LDH アイソザイム	佐野紀代子	1539(13)
〔血液〕		
terminal transferase について	高久 史磨	96(1)
エリトロポエチンについて	三浦 恭定	199(2)
FDP-E キットについて	松田 保	305(3)
凝固系検査における採血量	藤巻 道男	307(3)
血液学における半減期の意義	野村 武夫	411(4)
肝疾患とプロトロンビン時間	末永隆一郎・山崎晴一郎	521(5)
妊娠婦の白血球	村田 英雄	523(5)
白血球の粒度分布	新谷 和夫	634(6)
トロンプオエチンについて	長沢 洋	739(7)
リストセチンの作用	飯塚 敦夫・長尾 大	966(9)
凝固因子の測定法の違いによる値 の差	藤巻 道男	1432(12)
セリンプロテアーゼ	藤井 節郎	1540(13)
〔免疫血清〕		
クームス試験の判定	安田 純一	98(1)
血液型特異性を示さない寒冷凝集 素	神奈木玲児・恒松徳五郎	201(2)
寒冷凝集素	福岡 良男	308(3)
血清の不活化と梅毒反応	大谷 英樹	413(4)
I-i 特異性	河合 忠	525(5)
生死をさまよう患者の血液交差試 験	遠山 博	636(6)
B細胞の由来臓器	熊坂 一成・河野 均也	740(7)
日本脳炎	大谷 明	742(7)
二峰性M蛋白の同定	櫻林郁之介	847(8)
呼吸器疾患と免疫グロブリン	名取 博・吉良 枝郎	849(8)
抗核抗体について	浅川 英男・清水 初子・森 亘	968(9)
クームス試験陽性のとき	遠山 博	1083(10)
高グロブリン血症患者への輸血 は?	竹中 道子	1434(12)
緒方法の判定	鈴田 達男・熊原 優子	1543(13)
妊娠中血清と TPHA	富沢 孝之	1545(13)
抗L鎖非反応性M蛋白のL鎖の同 定	河合 忠	1546(13)
〔微生物〕		
結核菌検査について	高橋 昭三	100(1)
食中毒の原因菌	寺山 武	414(4)

髄液の CF 抗体価の測定について	船橋 修之	526 (5)
消毒液の殺菌効果	辻 明良	638 (6)
サルモネラの血清型判定	坂井 千三	743 (7)
<i>Staphylococcus</i> と <i>Micrococcus</i>	小栗 豊子	853 (8)
大腸菌を疑わせる菌の同定	田村 和満	970 (9)
<i>Serratia marcescens</i> の選択分離培地	坂崎 利一	1547 (13)
〔病 理〕		
染色用色素	渡辺 恒彦	101 (1)
細胞診の判定基準	石東 嘉男	102 (1)
クリオスタットでの薄切	丸本 雅夫	203 (2)
ヘマトキシリン液	滝沢 通・朝隈 蓉子・井上 正年	
	千野 秀致・斎藤 孝久	527 (5)
再び細胞診の判定基準について	石東 嘉男	743 (7)
フリーズ・エッチング法	外崎 昭・鷺岳 宏	854 (8)
脱灰の終了を確認する方法は ?	河又 國士	970 (9)
鉄ヘマトキシリン液	上野 哲夫	1435 (12)
鉄染色の理論	萩島 寿子	1549 (13)
〔臨床生理〕		
睡眠脳波について	吉井 信夫	103 (1)
肺機能検査	鶴沢 毅	204 (2)
生体電気情報のシステム管理	又吉 正治・斎藤 正男	205 (2)
K コンプレックスの由来	一条 貞雄	309 (3)
脳波のパワースペクトル	佐藤 謙助	311 (3)
ST 上昇・ST 下降の生理学的解	積 星	417 (4)
トレッドミル負荷試験	村山 正博	640 (6)
機能的残気量及び残気量測定値の		
変動	西田 修実	743 (7)
心電図の高電位差	沼尾 嘉時	857 (8)
心電図の電極の位置	石見 善一	859 (8)
クロージングボリウム	谷合 哲	974 (9)
WPW 症候群における運動負荷		
後の ST 低下	外畑 巖	1436 (10)
〔一 般〕		
尿中脂肪	原 一郎・滝沢 旭	207 (2)
精液中の円形細胞について	白井 将文	642 (6)
重炭酸塩測定	竹内 正・北田 増和	746 (7)
胃液酸度の表示法	竹内 正・北田 増和	860 (8)
PSP 試験について	折田 義正・今井 宣子	976 (9)
pH メーターによる胃液酸度の測		
定法	猪狩 淳	1086 (10)
セロファン厚層塗抹法	鈴木 了司	1550 (13)
〔診断学〕		
DECD とは	永島 成晃・畔柳 武雄	420 (4)
ペルテス病とは	岩崎 勝郎	751 (7)

先天代謝異常のスクリーニング…大和田 操…1087(10)

〔検査機器〕

インピーダンスマッチングとは…金井 寛…105(1)

ディスク製品の選択法…富田 仁…418(4)

自動分析機の長所・短所…高原喜八郎…748(7)

〔雑 件〕

二級臨床病理技術士資格認定試験

…内海 邦輔…210(2)

計量診断学の今後は ? …古川 俊之…528(5)

学校教育と進歩する臨床検査…江部 充…754(7)

研 究

デジタル・コンピューターを用

いた色素希釈曲線の実用的処理

法…国司 健・加藤 光恵

江部 充・長崎 文彦…63(1)

R-PHA 法による HBs 抗原の検

査…山田 恵子・石口 重子・浦川 和枝

小原矢素子・長山正四郎・品田 章二

小島 健一・大島 博・小堀 勝弘…67(1)

セルロースアセテート膜電気泳動

による血清蛋白分画法の誤差要

因…青木 久子・青木 哲雄…71(1)

尿中 LDH 総活性及びそのアイソ

ザイム分画について

蓮沼 紀子・佐野紀代子・保崎 清人…75(1)

レーザーネフエロメーターによる

血漿蛋白の定量…山岸 安子・河合 忠…79(1)

リボ蛋白 X の定量

古賀 俊逸・山本 匡介・津守規代子…167(2)

インピーダンス変換器利用の脳波

“平均閾電極誘導法”の研究…阪本 実男…171(2)

神経芽細胞腫による VMA スポ

ットテストの評価

宮川富三雄・中田幸之介・野口 輝彦

橋崎 和子・井上 武夫…177(2)

腎生検標本における免疫複合体観

察のためのマッソン・トリクロ

ーム染色の応用

藤沼 裕明・宇賀神絹代・金敷 俊枝

小西 晴夫・羽角 安夫…181(2)

新しい肝機能検査としての血清中

総胆汁酸測定 第1報

遠藤 一・鹿野 敏夫・清水 暉雄

石塚 昭信・山根 示子・土屋 敏子

太田 裕彦・佐藤源一郎・上野 幸久…185(2)

CLOTEK 使用によるヘパプラス

チンテスト自動化の試み

…藤井 正博・安永幸二郎…269(3)

新しい肝機能検査としての血清中

総胆汁酸測定 第2報

遠藤 了一・鹿野 敏夫・清水 暉雄 石塚 昭信・山根 示子・土屋 敏子 太田 裕彦・佐藤源一郎・上野 幸久… 273(3)	
Kind-King 変法の酸化剤にヨード化合物を用いた ALP の活性測定……………瀬川 修史・岡村研太郎… 278(3)	
救急部または血液科のための簡便な小型自動血球計測器の検討 品田 章二・白井 康子・小林 緑 服部 晃・桜川 信男・柴田 昭… 281(3)	
細胞診標本の作製不手際がスクリーニングの成績に及ぼす影響について……………松田 実・南雲サチ子… 285(3)	
マイクロタイター法の寒凝集反応への応用 山岸 安子・中尾 文子・河合 忠… 389(4)	
アンモニアガス選択性電極を用いた血漿アンモニア自動化定量 森下 芳孝・中根 清司・高阪 彰… 393(4)	
フィブリン染色のための PTAH 染色法の検討…………長屋 清三・若林 隆… 495(5)	
血清 GOT 活性測定におけるピリドキサル誘導体の添加効果 山道 宏・北添 直行・檀 芝之 老田 達雄・大川 二郎・水田 亘… 499(5)	
ポリスチレンラテックス粒子を用いた白血球貪食能検査の検討 丹羽 欣正・寺田 信市・山本 公磨 喜多 悦子・梅垣 健三…………… 607(6)	
パラフィン包埋材料の走査電顕観察について 浜崎 美景・福田伊都子・渡部 威 井上とし子・岡田 雄平…………… 611(6)	
血液培養へのガスクロマトグラフィーの応用 渡辺 邦友・上野 一恵・沢村 治樹 沢 赫代・川出 真坂・二宮 敬宇 鈴木祥一郎…………… 614(6)	
セパラックス電気泳動法による血清蛋白分画における“カギ型”アルブミン分画の成因に関する研究……………藤田 清貴… 718(7)	
感染症診断へのガスクロマトグラフィ―応用の試み・1 渡辺 邦友・上野 一恵・沢村 治樹 沢 赫代・川出 真坂・二宮 敬宇 鈴木祥一郎…………… 722(7)	
血液凝固能測定器によるフィブリノゲン測定について ……………西部 ひな・坂井 正治… 813(8)	
赤血球抗体検出用パネル血球の保	

存におけるアデニン、イノシンの添加効果 小松 文夫・佐藤ヒロミ・矢野 節子 須田真美子・太田 信江・尾中真理子 松田美枝子・中尾 真・武内重五郎… 816(8)	
脳波記録に混入するアーティファクト“心電図”の頭部回転による混入様態の変化……………阪本 実男… 821(8)	
耳朶基準電極に関する研究 村山 利安・北川 公子・染葉 裕美 川原 万美・木原 孝子・吉井 信夫… 826(8)	
血液ガス微量測定の問題点 ……………藤川 淳策・大塚 勲 富坂 勝之・三川 宏… 933(9)	
硫化銀膜電極による髄液蛋白定量 森下 芳孝・中根 清司・高阪 彰… 936(9)	
抗D抗体検査用赤血球の保存中における抗原性の変動 ……………松井 博範・石原 佑弐 神保 芳郎・井上 裕正… 940(9)	
セパラックス電気泳動法による血清酸性ムコ多糖測定・1 ……藤田 清貴… 943(9)	
角度可変型小型探触子によるUCG 検査について 池永 一則・宮崎 輝美・松崎 馨 阿久根盛喜・中村 一彦・宮原 健吉 河西 千広……………1053(10)	
セパラックス電気泳動法による血清酸性ムコ多糖測定・2 ……藤田 清貴…1057(10)	
H ₂ O ₂ 電極によるコレステロールの酵素的自動分析法 ……………中根 清司・高阪 彰…1061(10)	
Wassermann 反応の AA II 型による自動化 飯田 悦夫・田村 頤子・吉田 一夫…1397(12)	
アガロースゲル電気泳動法による血清 α-コレステロール濃度と糖尿病病態との相関 天野 昌彦・岩元 栄一・後藤千賀子 梶谷 利明・杉町 定・生野 哲雄 福永 秀行・馬場 茂明……………1401(12)	
尿路感染症における BM テスト N の検討 甲田 雅一・鹿島 ひさ・富川久美恵 佐藤 喜春・松崎 廣子……………1405(12)	
IAHA 法によるウイルス抗体価測定 溝口 真理・飯田 悦夫・永井 秀 市川 孝行・尾崎 隆男……………1408(12)	
血小板、リンパ球のチトクロム b ₅ 還元酵素活性測定による遺伝性	

メトヘモグロビン血症の鑑別診
断……………谷島 清郎・石田 昌子
竹内真理子・福田 直子…1515(13)
患者データを用いる基準値作成法
の評価

北村 元仕・飯森 糸子・村川 和枝
橋本寿美子・飯塚 悦功……………1519(13)

編集者への手紙

緊急検査時の血液型判定……………福原 敏之… 947(9)

レポート

国立病院グループにおける日本医
師会精度管理結果の解析
……………国立病院検査科管理協同研究班… 397(4)

新しいキットの紹介

HI 法における HBs 抗原検出法
の検討
谷脇 清助・郡谷 哲男・申斐 俊朗
原 宏・東川 幸代・戸沢 辰雄… 85(1)

“アブソープ G” 使用による 風疹
IgM, IgA 抗体検出について
前田 勝・林 徳夫・中原 節… 189(2)

アガロースゲル電気泳動による螢
光 LDH アイソエンザイムの
検討
橋本寿美子・石川 俊夫・長橋 信子
関口 光夫・岩田 進・河野 均也
土屋 俊夫…………… 293(3)

トリヨードサイロニン・ラジオイ
ムノアッセイ……………橋本 信雄・嶺山 隆司… 401(4)
精製 HBs 抗原サブタイプ (adr,
adw) に関する市販 キット 11
種の検出感度の比較検討……………吉原なみ子… 505(5)

低濃度 IgM ラテックス凝集試薬
の検討
杉山武喜子・福田 文男・渋谷美智子… 509(5)

API システム (アピケンキ) によ
る嫌気性菌の簡易同定法の有用
性……………渡辺 邦友・上野 一恵・沢 赫代
沢村 治樹・川出 真坂・二宮 敬宇
鈴木祥一郎…………… 619(6)

HBs 抗原・抗体検査法 R-PHA
法及び PHA 法の評価
……………森山 隆則・古森 治代… 622(6)

エラジ酸含有 APTT 試薬 Ce-
photest の使用経験
長谷川 淳・瀬谷 司・小熊 豊
山内 雅夫・村越 敏雄・長田 博
村尾 誠…………… 726(7)

α -フェトプロテイン測定用キット
(DRL-8 F 2-I-125) の検討
尾崎 新子・吉田 祥二・宮崎 純一… 830(8)
酵素法に基づくアミラーゼ活性の
測定・1

牧瀬 淳子・原 こずえ・北蘭 邦子
大沼 洋子・金山 正明…………… 833(8)

ペーパーディスク固相法による新
しい血中成長ホルモンのラジオ
イムノアッセイキットの使用経
験……………阪東 慶一・笠原 素子
森田 純央・泉 寛治… 948(9)

デキストラン硫酸-Mg 法による
HDL-コレステロール測定法と
その臨床的意義
八島 弘昌・末田 美歩・檜脇 千里…1067(10)

免疫拡散法によるサイロキシン結
合グロブリンの測定とラジオイ
ムノアッセイとの比較
小豆沢瑞夫・三木 哲郎・中谷 清美
網野 信行・宮井 潔・熊原 雄一…1071(10)

プラスチックチューブコートイン
スリン抗体を用いたエンザイム
イムノアッセイによる血中イン
スリンの測定
清水 静夫・泉倉 康男・中尾山梅子
三村 幸一・井野 隆弘・松岡 英…1413(12)

グルコースオキシダーゼを固定化
したナイロンチューブ (Cata-
links™) を用いた血糖の自動分
析の検討……………江原 和人…1525(13)
デキストラン硫酸法による HDL-
コレステロール測定法の評価
佐藤 幸男・赤井 俊洋・奥田 清…1529(13)

新しい機器の紹介

ネフエロテックシステムによる血
漿蛋白の定量
田中 庸隆・松井 正・奥田 清
川本 和信・山田 繁樹…………… 729(7)

電気化学的酵素法による血中乳酸
値の測定
岸 不盡彌・川上 義和・村尾 誠… 837(8)
コアグレーションプロファイラー
によるフィブリノゲンの迅速定
量法

山内 雅夫・瀬谷 司・小熊 豊
村越 敏夫・長田 勇・長谷川 惇
村尾 誠…………… 951(9)

尿自動分析機 (クリニラブ) の使
用経験……………飯塚 儀明・仲村 妙子

村井 哲夫・及川 淳…1417(12)

臨床化学分析談話会より

データ採取時に正常値群を選ぶ……………	62(1)
等電点電気泳動法と等速電気泳動 法の解析力……………	166(2)
明るい酵素の分析技術と利用技術 の将来……………	289(3)
サーベイからみた脂質測定の問題 点……………	388(4)
第5回定期セミナー……………	504(5)
免疫学的な血中薬物測定法も……………	618(6)
新しい発想による診断法の開発 を！……………	703(7)
着実なレベルアップを目標として……………	791(8)
リポ蛋白の豊富な最新知見……………	917(9)
十分な検討の後に術式導入を！……………	1056(10)
活発な現場での問題点の指摘……………	1396(12)
自己主張を始めた夏期セミナー……………	1483(13)

臨時増刊・11号<免疫学的検査の進歩>

I. 免疫不全

組織学的検査……………	畠山 茂…1098
リンパ球検査	
1. 分離法……………	中川 俊郎…1101
2. 表面マーカー……………	渡辺 信雄…1106
3. 培養試験	
1) 芽球化反応……………	河野 均也・土屋 達行…1110
2) リンフォカイン	
中川 潤・杉山 知行・井村 裕夫…1114	
3) 細胞傷害試験……………	金田 一孝…1119
4) 皮膚反応……………	北郷 修…1123

免疫グロブリン

1. グロブリンの定量	
……………	櫻林郁之介・榎本 博光…1128
2. アロタイプ……………	松本 秀雄…1132
補体……………	稲井 真弥・安田 玲子…1137
好中球	
1. 走化能……………	辻 芳郎・野田 弘…1145
2. 貪食能……………	木谷 信行…1148
3. 殺菌能……………	木谷 信行…1150
4. 代謝反応……………	小林陽之助・松浦 良二…1152
5. 微細形態及び細胞化学	
……………	赤羽 太郎・小宮山 淳…1155

II. 感染症

感染症の血清学的診断……………	水岡 慶二…1162
梅毒……………	水岡 慶二…1164
トキソプラズマ感染症……………	亀井喜世子…1166
レプトスピラ感染症……………	有光 佳子…1169
溶レン菌感染症……………	長田 富香…1172
肝炎の血清学的診断……………	小島 健一・吉川 明…1176

皮内反応……………水岡 慶二…1180

III. 自己免疫疾患・アレルギー

リウマチ因子……………	鈴木 達男…1184
核物質……………	大藤 真・富脇 昌二…1188
甲状腺……………	越智 幸男・梶田 芳弘・宮崎 忠芳
吉村 学・八谷 孝……………	1192
胃壁……………	福田 守道・中沢 修…1197
胸腺細胞……………	守田 浩…1201
赤血球……………	阿部 帥…1205
血小板……………	安永幸二郎…1209
顆粒球……………	長谷川恒彦…1214
インスリン……………	平田 幸正…1219
アレルギーの検出	
1. RAST……………	宮本 昭正…1222
2. 皮膚反応……………	宮本 昭正…1226
ヒスタミンテスト, 脱顆粒	
……………	木村 郁郎・谷崎 勝朗…1229
免疫組織学……………	川生 明…1233
血中可溶性免疫複合体	
桜井 徹志・河野 一郎・梶島 悌蔵	
山根 一秀・柏木平八郎……………	1237

IV. 同種免疫

HLA 検査……………	関口 進・高田 實…1242
血液型とその臨床的意義……………	山崎 順啓…1248
血清型……………	池本 卯典…1254
精子免疫……………	磯島 晋三…1260

V. 抗原

ホルモンの定量……………	井上 和子・入江 實…1264
血漿蛋白……………	櫻林郁之介…1269
血液凝固因子……………	藤巻 道男・池松正次郎…1273
薬剤……………	北川 常廣…1277
食肉……………	春田三佐夫…1281

VI. 機械

ネフェロメーター

1. 紫外部ネフェロメーター……………	山岸 安子…1286
2. レーザーネフェロメーター……………	大竹 皓子…1289
セルソーター……………	高橋 英則・奥村 康…1293
蛍光偏光測定器……………	橋本 康男・高久 史麿…1296
電子スピン共鳴測定器……………	桃井 宏直…1299
ラジオイムノアッセイの自動化……………	桜井兵一郎…1304
マイクロタイターの自動化……………	富山 哲雄…1307
セル・ハーベスター……………	笠原 忠…1310
自動血球洗浄装置……………	内川 誠・遠山 博…1313

VII. 座談会

免疫学的検査の進歩

笠原 和恵・矢田 純一・河合 忠	
水岡 慶二 <司会>松橋 直……………	1318

トピックス

冷光免疫測定法……………	飯村 康夫…1144
“抗体電極”, 酵素免疫測定における新 しい試み……………	飯村 康夫…1159

多形核好中球表面における免疫複合体の検出	飯村 康夫	1163
ヒト血清中のアポリポ蛋白 B の比ろう測定法	飯村 康夫	1168
Phyto mitogen に対する T 細胞依存性 B 細胞芽球化反応	金 衡仁	1171
SLE 患者における自己リンパ球混合反応の障害に関する細胞学的検討	金 衡仁	1175
SLE における抑制性細胞抗体	金 衡仁	1182
ヒト末梢血リンパ球サブポピュレーションの年齢による変化	金 衡仁	1196
T μ , Tr リンパ球の形態学的及び組織化学的方法による同定	笠原 忠	1213
若年性関節リウマチ患者血清中のサブレッサー T に対する抗体	笠原 忠	1213
多発性硬化症の免疫学的診断法として期待される白血球粘着阻止テスト	笠原 忠	1218
ヒトのナチュラルキラー (NK) 細胞活性化の機構	笠原 忠	1232
ヒト T 及びヌル細胞表面抗原蛋白 MICG について	笠原 忠	1232
特定の T リンパ芽球の細胞系により産生された好中球遊走阻止活性	高木 皇輝	1236
自己免疫病患者血中の免疫インターフェロン	高木 皇輝	1240
試験管内好中球分化の免疫化学的定量	高木 皇輝	1253
血小板関連フィブロネクチン抗原の同定と定量	高木 皇輝	1253
免疫グロブリンの凝集に基づく血清不活化の温度効果	松田 重三	1259
Ouchterlony 法を応用した ENA 抗体検索	松田 重三	1262
ネフエロメトリーによるリウマチ因子 (RF) の測定	榎本 博光	1276
蛋白可溶化剤の存在下でのロケット電気泳動法	榎本 博光	1280
プロテイン A カラムによる精製 IgG 中への IgA の混入	榎本 博光	1298
AET 処理ヒツジ赤血球による E ロゼット形成法の検討	榎本 博光	1306
原発性免疫不全症の末梢血リンパ球に対する <i>Staphylococcus aureus</i> Cowan I 株の刺激効果	伊藤 喜久	1309
老年者における T 細胞のサブポピュレーション	伊藤 喜久	1312
リンパ球表面上の α_1 -アンチトリプシンの検出	伊藤 喜久	1315
肝胆道系疾患における胆汁糖蛋白の血清内の増量	伊藤 喜久	1315

書 評

「免疫血清学」	水谷 昭夫	1160
新免疫学叢書・4「移植免疫」	藤井源七郎	1179
新免疫学叢書・2「免疫応答」	川上 正也	1268
新免疫学叢書・6「リンフォカイン」	橋本達一郎, 小林 登	1283
「タンパク分画と免疫電気泳動像」	青木 紀生	1316
新免疫学叢書・4「移植免疫」	飯高 和成	1317
表紙説明		
E ロゼットを形成するヒト T 細胞の走査電顕写真	畠山 茂	1136

私のくふう

廃物利用のマイクロピペット用吸引器

中村 幸夫・高橋 秀身・藤田 良子	441 (5)
免疫電気泳動像の簡易な判読法	橋本寿美子 591 (6)
自動分析用サンプルカップを利用した HDL-コレステロール測定法	星 辰男 901 (9)

書 評

臨床検査技術全書・8「病理形態検査」	福西 亮	34 (1)
「新版 放射線管理法規とその解説」	松村 義寛	43 (1)
「臨床検査法提要」第 28 版	柴田 進	84 (1)
臨床検査アトラス・2「血球」	三輪 史朗	88 (1)
「呼吸とその管理」	太田 保世	128 (2)
「図解 臨床生理検査の実技」改訂第 2 版	勝目 卓朗	175 (2)
「血液ガス」	井川 幸雄	176 (2)
「図説 組織病理学」日本版第 5 版	奥平 雅彦	191 (2)
「呼吸とその管理」	小山田正孝	292 (3)
「免疫グロブリンと高免疫グロブリン血症」	内野 治人	342 (4)
「血液学アトラス」	市丸 道人	373 (4)
日常検査の基礎知識シリーズ・11「血清脂質検査」	野間 昭夫	400 (4)
日常検査法シリーズ・9「組織標本」改訂第 2 版	内海 邦輔	450 (5)
「血液学アトラス」	内野 治人	463 (5)
日常検査法シリーズ・10「梅毒血清反応」改訂第 2 版	小野田洋一	512 (5)
日常検査法シリーズ・9「組織標本」改訂第 2 版	鬼頭 花枝	617 (6)
日常検査法シリーズ・10「梅毒血清反応」改訂第 2 版	津上 久彌	667 (7)
「医療と教育の刷新を求めて」	谷 莊吉	674 (7)
「医療技術者のための化学」	中 甫	798 (8)

「Renal Histopathology」 2nd ed.	石川 栄世...	815(8)
「酵素免疫測定法」.....	鎮目 和夫...	894(9)
「カラン組織病理学アトラス」.....	影山 圭三...	916(9)
「心電図を学ぶ人のために」.....	平塚 玲子...	942(9)
日常検査の基礎知識シリーズ・11		
「血清脂質検査」.....	春日 誠次...	956(9)
「酵素免疫測定法」.....	河内 卓...	995(10)
「続ラジオイムノアッセイ」.....	木下 文雄...	1066(10)
「緊急診療検査マニュアル」.....	黒田 吉男...	1372(12)
「腸管系病原菌の検査法」改訂第3版.....	斎藤 誠...	1407(12)
「医療と教育の刷新を求めて」.....	相沢 豊三...	1411(12)
「Clinical Laboratory Statistics」 2nd ed.	臼井 敏明...	1412(12)
「血液病学入門」.....	寺田 秀夫, 山中 學	1523(13)

トピックス

体重と血液成分.....	吉野 二男...	26(1)
体位と血漿成分.....	吉野 二男...	33(1)
特異的な二本鎖 DNA 抗体検出法.....	松田 重三...	70(1)
子宮頸管から分離された <i>Pseudomonas vesicularis</i>	藪内 英子...	83(1)
尿中のキサンチンオキシダーゼ活性.....	吉野 二男...	153(2)
フローシステムでラジオイムノアッセイの自動化測定法.....	吉野 二男...	153(2)
非発酵グラム陰性桿菌同定のための API 20 E system の評価.....	藪内 英子...	180(2)
多剤耐性肺炎球菌の出現.....	藪内 英子...	180(2)
フルオロメトリーによるリウマチ因子測定法.....	松田 重三...	261(3)
緩衝剤の不純によるアルカリ性ホスファターゼ活性の低下.....	吉野 二男...	272(3)
血清フェリチンと貯蔵鉄.....	吉野 二男...	272(3)
原発性肝癌と血清フェリチン.....	吉野 二男...	277(3)
血清鉄の測定法.....	吉野 二男...	284(3)
アンギオテンシン分解酵素の測定.....	吉野 二男...	296(3)
尿中アルブミンのラジオイムノアッセイ.....	吉野 二男...	372(4)
ブロムクレゾールグリーンによる血清アルブミンの定量.....	吉野 二男...	372(4)
駆虫剤によるリンパ球機能の是正.....	松田 重三...	387(4)
自動化 RA テスト	松田 重三...	387(4)
迅速なクリオグロブリン検出法.....	松田 重三...	477(5)
溶血を起こした血清と検査結果.....	吉野 二男...	494(5)
髄液の蛋白定量に Coomassie Blue		

法.....	吉野 二男...	494(5)
レクチンと赤血球との反応性を応用した動物種の鑑別.....	松田 重三...	561(6)
ペニシリンナーゼを産生する <i>Neisseria gonorrhoeae</i>	藪内 英子...	694(7)
もっと蛋白質を！ 免疫グロブリン値は蛋白摂取量と関連する.....	松田 重三...	702(7)
高濃度の管理用検体を作るための水溶性コレステロール誘導体.....	吉野 二男...	717(7)
髄液中のフィブロンネクチン.....	吉野 二男...	717(7)
リウマトイド因子が FDP の測定に影響.....	吉野 二男...	721(7)
凍結乾燥血清を再溶解するときの温度とクレアチンキナーゼの活性.....	吉野 二男...	778(8)
Crithidia 法による二本鎖 DNA 抗体検出法.....	松田 重三...	805(8)
SLE-1979 ?	松田 重三...	805(8)
酵素免疫法に電極利用.....	吉野 二男...	820(8)
新しいアミラーゼ活性測定法.....	吉野 二男...	820(8)
慢性肝疾患の補助診断に有用な各種自己抗体の検索.....	松田 重三...	825(8)
第三の T 細胞 Fc レセプター——Tα	松田 重三...	880(9)
血漿中の乳酸の微量測定法.....	吉野 二男...	893(9)
細菌感染の場合の好中球の組織化学.....	吉野 二男...	932(9)
血清総 Ca 量にアルブミンの補正.....	吉野 二男...	932(9)
プロトロンビン時間の管理用検体としてプール血漿の使用.....	吉野 二男...	1006(10)
尿沈渣の中のシュウ酸カルシウムの形.....	吉野 二男...	1052(10)
Ca の自動化測定法に妨害を与えるもの.....	吉野 二男...	1060(10)
酵素測定用の透明な管理用検体.....	吉野 二男...	1065(10)
固定化酵素-電極法による血中ブドウ糖の連続測定.....	吉野 二男...	1342(12)
コリンエステラーゼ測定の微量法.....	吉野 二男...	1365(12)
リンパ球表面マーカー.....	松田 重三...	1389(12)
T 細胞に証明された IgA Fc レセプター.....	松田 重三...	1400(12)
抗核抗体活性を示す M 蛋白.....	松田 重三...	1404(12)
非経口的栄養を受けているときの肝機能検査結果.....	吉野 二男...	1454(13)
悪性リンパ腫における高カルシウム血症.....	吉野 二男...	1454(13)
酵素を用いた蛍光法による血清中の総胆汁酸の測定.....	吉野 二男...	1514(13)

そ の 他

〔学会印象記〕

第 25 回日本臨床病理学会 ……金澤 知徳… 192(2)

第 28 回日本臨床衛生検査学会 ……中根 清司… 812(8)

第 29 回電気泳動学会春季大会 ……池本 卯典… 926(9)

〔お知らせ〕

第 5 回臨床化学分析談話会冬季セ

ミナー…………… 49(1)

日本電子顕微鏡学会関東支部 昭

和 53 年度講演会 …………… 61(1)

文部省特定研究「化学分析による

動的病態の解析」班主催シンポ

ジウム…………… 88(1)

細胞診スクリーナー養成所募集要

項…………… 184(2)

1979 年度細胞診スクリーナー養

成研修会応募要領…………… 184(2)

昭和 54 年度二級臨床病理技術士

資格認定試験，一般臨床検査士

資格認定試験実施要領…………… 290(3)

第 1 回 日本エム・イー学会 ME

技術講習会，第 1 回 第 2 種

ME 技術実力検定試験 …………… 582(6)

臨床化学分析談話会第 6 回夏期セ

ミナー…………… 728(7)

昭和 54 年度 電子顕微鏡技術認

定試験…………… 840(8)

昭和 54 年度 第 12 回細胞検査士

資格認定試験実施要領……………1070(10)

「ISSN」と「Key-Title」表示に

ついて……………1489(13)

1980 年度の新設欄紹介 ……本誌編集室…1518(13)

〔ニュース〕

第 7 回樫田賞授賞式…………… 606(6)

〔その他〕

第 11 回 “私のくふう賞” 発表 …………… 238(3)